

令和 3 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立清江小学校 学校協議会

1 総括についての評価

本年度の学校の自己評価結果は概ね妥当である。昨年度より全体的に児童が明るく元気になっている。あいさつも、学校の取り組みによりする児童が増えている。これは、とても素晴らしいことであり、今後も期待する。登校時は異学年で仲良く登校している姿を見る。また、ホームページで学校のことを地域に発信し、開かれた学校づくりを進めてきたことは評価できる。

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

年度目標：子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現

全市共通目標（小・中学校）

- 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を 83%以上にする。
- 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。

学校園の年度目標

- ① 全国学力・学習状況調査で「自分にはよいところがある」の肯定的回答を 77%以上にする。学校教育に関するアンケートで行事や体験活動の項目について、肯定的回答をする児童・保護者の割合を 91%以上にする。
- ② 自ら判断し身を守る避難訓練や交通安全指導などの安全教育を学期ごとに行う。

・達成状況の評価に関しては妥当である。具体的な取組の積み重ねによって、成果が表れしており、今後の課題も明確になっている。また、児童アンケート・保護者アンケートを実施し、丁寧に分析し説明されている。すすんであいさつする児童が増え、明るく元気になってきている。

年度目標：心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上

全市共通目標(小・中学校)

- 小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
- 小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント減少させる。
- 小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント増加させる。
- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点を前年度より向上させる。

学校園の年度目標

- ① 学力経年調査で各学年の標準化得点を昨年より向上させる。学校教育に関するアンケートで「学習内容の習得」の項目で、肯定的回答をする児童・保護者の割合を87%以上にする。
 - ② 学校教育に関するアンケートで、「ぶくぶくうがいをしていますか」の項目について、肯定的回答をする児童・保護者の割合を84%以上にする。
- 「全国体力・運動能力、習慣等調査」での体力合計点について、男子50.9ポイント、女子52.9ポイントを上回る。
- ・達成状況の評価に関しては妥当である。全国体力・運動能力、運動習慣調査は学校独自で一昨年度との比較をし、丁寧に分析されていた。また、課題と改善点が明らかされているので、今後の取組に活かせることが望める。

3 今後の学校園の運営についての意見

- ・学校は、新型コロナ感染症拡大防止のため、様々な対応を実施され大変だったと思う。
- ・子どもたちは、地域でも支えていく必要がある。互いにしっかりと連携していかなければならない。
- ・ホームページ等で情報をしっかりと発信している。今後も続けてほしい。
- ・これまでの学校の取組を更に充実させながら、保護者と協力しながら行い、落ち着いた学校運営を行ってほしい。